

# みみよい

## なお知らせ!



第 82 号

令和 3 年 1 月 15 日 発行

佐賀県聴覚障害者  
サポートセンターだより



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

# 祈願 コロナ退散 新しい生活様式

めざし



## 難聴者支援のあり方について



### 先進的な支援実践として

### オンライン座談会・・・当サポートセンターも発表

## 全国聴覚障害者 情報提供施設協議会

(略称：全聴情協)

全聴情協の研究事業の難聴者支援についての座談会が昨年 12 月 15 日オンライン参加形式でありました。当サポートセンター、神奈川県聴覚障害者センター、愛媛県視聴覚福祉センターの言語聴覚士がそれぞれに特長のある支援実践として発表しました。また、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（略称：全難聴）新谷理事長から聴こえの総合支援センター構想について発言がありました。

それぞれに質疑があり、情報提供施設に求められる役割等を併せて考察し国、行政への政策提案を報告書としてまとめられることになっています。

### ●佐賀県

18 歳以上の成人を対象に聴力測定、補聴器相談、各種巡回相談、セミナーを行っていることを報告しました。

### ●全難聴

新生児、学齢期、成人期、老年期それぞれのステージ毎にいろいろな問題がある。医療面やコミュニケーションの両面から社会資源を活用して統合的に対応する施策が求められていることが提起されました。

### ●神奈川県

小児から成人の聴力検査、補聴器適合、コミュニケーション、生活全般についての相談に応じている。また、若年層対象の難聴者サロン等も行っていること。

### ●愛媛県

難聴と診断された未就学児等に対し愛媛大学病院と連携して、子どもが楽しみながら言葉を使って話しながらの訓練や保護者への情報提供等を行っていること。

## ●オンライン研修会

### ・手話テレビジョン放送における手話通訳育成に関する研修会

1 月 10 日、11 日

ニュース番組、新型コロナウイルス首長会見等の自身が担当した映像を上映し自己評価、講評を実施。当サポートセンター職員が参加しての研修。

### ・パソコン文字通訳シンポジウム

1 月 11 日

基調講演「話しことばと書きことばの違いから支援を考える」  
パネルディスカッション「私たちが求めるオンライン情報保障」

## 九州ブロック施設長

## 会議もオンラインで

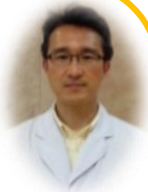
全聴情協九州沖縄ブロック施設長会議が昨年 12 月 10 日 Zoom によるテレビ会議で実施されました。

電話リレーサービス、遠隔手話サービス、ブロック研修のあり方について論議されました。当サポートセンターからはブロック長の指示により「難聴者に対する支援のあり方研究事業について」報告しました。



## シリーズ (37) 山口相談医のひと言コメント

耳管と聞こえ方 その1



2 回にわたって、鼻の病気からの聞こえの問題を取り上げてきました。今回は直接的に鼻の病気による問題ではありませんが、鼻と耳をつなぐ管、耳管に関わる話題です。よく「鼻と耳と目はつながっている」と言いますが、そこに関わる耳管についてです。

**耳** 管は耳の中耳と鼻の奥、上咽頭をつないでいます。鼻の側では、開口部が普段は閉じていて、あくびや嚥下をすると一過性に開く様になっています。耳側では、中耳につながって、その先は鼓膜になりますので、一般的には閉鎖された状態（盲端）となります。この片側しか開かない管であるところが、ある意味色々問題を起こしてくるようになります。そこは後々の話題としていきたいと思いますが、この耳管について少し詳しく見てみます。

**成** 人において耳管は約 3.5cm の長さがあります。耳側の 1/3 は骨、上咽頭側の 2/3 は軟骨に、大まか取り囲まれています。また周囲に脂肪組織があります。管の表面（管の内側）は線毛円柱上皮という組織で覆われています。その下には、耳管腺と呼ばれる粘液を作る組織があります。

**こ** の線毛上皮は気道（鼻や肺など）と同じ組織で、表面にある線毛が、異物や耳管腺で作られた分泌物を運ぶ働きがあります。耳管の場合は鼻の側に運んでいく様になっています（盲端側には運ばない様になっています）。ですから、中耳にある粘液やバイ菌などは、耳管を通して排除されることになります。

### 巡回聞こえの相談

- 1月27日(水) 10時～15時 東与賀保健福祉センター
- 2月10日(水) 10時～15時 みやき町庁舎・防災センター
- 3月17日(火) 10時～15時 唐津市浜玉市民センター

### 第2回 耳サポーター養成講座 》サポートセンター

- 2月20日(土) 13時30分～15時
- 2月27日(土) 13時30分～15時
- 3月6日(土) 13時30分～15時



編集後記：新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。(5)

## 「色のいろいろ話」①

視覚から多くの情報を得る聴覚障害者。「色」はその情報だけでなく手話言語によるコミュニケーションにも大事な要素となります。そんな「色」について学習するため受験した色彩検定。そこで学んだ「色」についてお伝えできればと思います。

### ＜虹の七色は、人間が見ることができる色＞

雨上がりの空に架かる虹、誰もが一度は見たことがあると思います。虹の色の順番は覚えていますか？

青紫→藍→青→緑→黄→橙→赤と並んでいます。これは人間の眼が見ることができる電磁波の範囲で、可視光（かしこう）または単に「光」と言います。電磁波の波長が短い青紫色（380ナノメートル）から、波長が長い赤色（780ナノメートル）が光の範囲です。光よりも短い波長は「紫外線」、長い波長は「赤外線」と言います。どちらもよく目にする言葉ですが「青紫より外側、赤より外側」という意味があったのです。ちなみに電磁波の波長がさらに短くなるとエックス線・レントゲンで使われ、長い波長はマイクロ波・電子レンジで使われています。



【難読色名クイズ】この色どんな色？「芥子色」おでんが恋しい季節です。

（「色のいろいろ話」は、2級色彩コーディネーター・UC アドバイザーの清田大輔 手話通訳士が7回シリーズで担当します。）

## ●聴覚障害者「くらしのニーズ調査」 第1回検討会議

コロナ禍の昨年夏場に行った聴覚障害者へのアンケート調査について、第1回の検討会議（座長：芳野佐大教授）を12月24日開催しました。当事者団体、情報支援者団体の役員、学識経験者からなる会議です。集計結果のポイントについて説明しました。次回は2月26日に課題、問題点、施策提案についての論議を行い3月中にとりまとめします。

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12（佐賀商工ビル4階）  
TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705  
メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp  
ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

### ＜開館時間＞

9：30～18：00

### ＜閉館日＞

毎週月曜日、祝日、年末年始